

口之津小学校 学校だより



希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和7年1月14日

6年度 第11号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

もう一步前へ もう一つ上の自分・学級・学年・学校へ

第3学期始業式

新しい年になりました。本年も口之津小学校をよろしく申し上げます。

1月8日（水）、第3学期の始業式を行いました。子どもたちは、大きな事故もなく、安全に気を付け冬休みを過ごすことができたことをうれしく思います。

2学期は、ふるさと学発表会を中心に、大きな成果を上げた口之津っ子でした。そこに留まらず、さらに上を目指そうとする気持ちをもって3学期の学校生活にすることが、次の学年にもつながります。そのような思いで、子どもたちと「もう一步前へ もう一つ上の自分・学級・学年・学校へ」という言葉を始業式に伝えました。「自分・学級・学年・学校」という言葉を付けたのは、学校教育目標の「みんなで」を達成するために視野を広げてほしいと思ったからです。高学年は特に学年・学校を意識した気持ちと行動に期待したいと思います。

もう一つ子どもたちに身に付けてほしいことを伝えました。それは「強い心」で取り組むことです。2学期は、ちょっとしたことでやる気をなくしたり、くじけてしまったりの場面がありました。その反省からです。これから先、子どもたちは、多くの困難な場面に立つことがあります。そこに正対できなければ、乗り越えることはできません。その基盤を今のうちに身に付けてほしいと思っています。私たち教職員も、子どもたちの学年ゴールの姿を目指して、一人一人の口之津っ子に寄り添いながら、「強い心」で取り組みます。

- 進んであいさつ・返事
- 考え、表現する
- メディアを正しく使う



3学期の特にがんばることは上のおりです。今学期も本校教育活動に対してご理解とご協力をお願いします。



1月の主な予定

8日	第3学期始業式	17日	授業参観（4・5・6年） 親子メディア講演会
9日	身体測定（2・5・1年）		学級部会
13日	（祝）成人の日	19日	食育の日・家庭の日
14日	身体測定（3・4・6年） 委員会活動（写真撮影）	21日	給食集会 ミニお話し会（図書館友の会） クラブ活動（3年見学）
15日	校内書初め展（～17日） 6年給食指導	28日	給食かるた会・代表委員会
16日	授業参観（1・2・3年） 学級部会	30日	入学説明会 6年プログラミング学習②



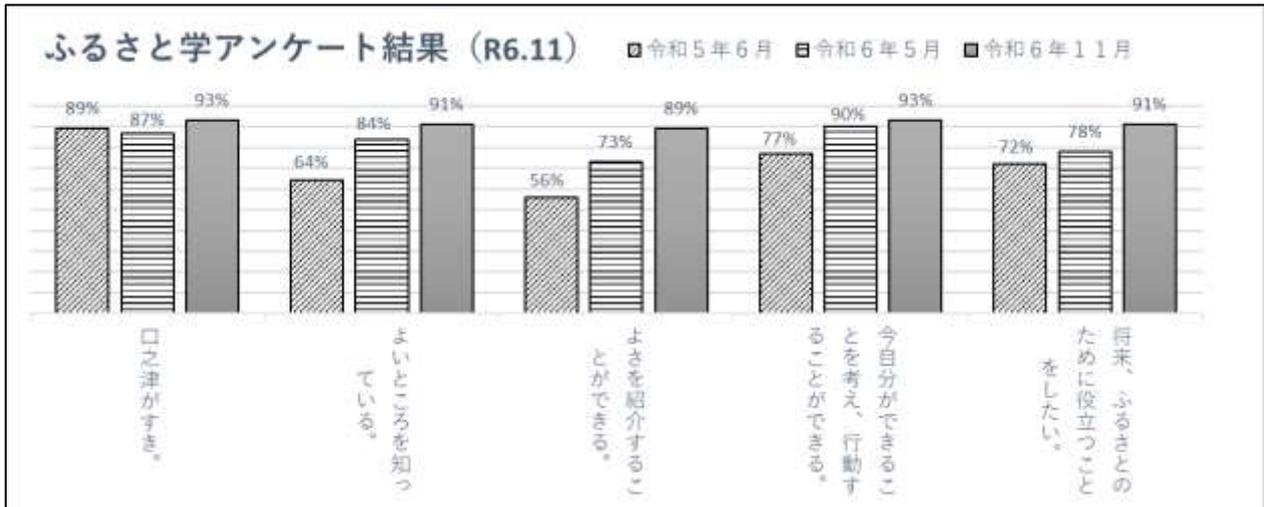
赤い羽根共同募金贈呈式

児童会で取り組んできた赤い羽根共同募金ですが、前年よりも多くの募金が集まりました。募金の集約が12月中に終わりましたので、運営委員会が全校児童を代表して、募金を口之津支所の方へ預けました。この募金は市内の必要な方たちのために役立てられます。ご家庭でも多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。



募金総額 22,329円

CSだより⑦ ふるさと学アンケートの結果（児童）



コミュニティ・スクールの仕組みを生かしながら、2年間取り組んできた「ふるさと学」研究ですが、その成果の指標として、子どもたちの意識の変容をアンケート形式で調査しました。上はその結果（抜粋）です。

※「あてはまる」「ややあてはまる」（肯定的意見）の合計の割合の推移を表しています。

1項目目の「口之津が好き」は、研究開始当初から高い水準で推移していました。ふるさとへの愛着は当初から維持されてきました。

2・3項目目の「口之津のよいところを知っている」「よさを紹介することができる」は、当初は十分でなかった項目でしたが、直近では90%近くが「知っている・紹介できる」と回答し、学習したことが子どもたちの知識・技能の向上と自信につながったと考えています。この項目が最も大きな変容となりました。

4・5項目目の「考え、行動する」「役立つことをしたい」が、最もうれしい結果となりました。学習の結果が行動を起こす意識へとつながり、ふるさと愛へ帰着する方向性が確かになったと考えます。このことから今回の研究が表面的なものではなく、子どもたちの心にまで届く深みがあったものと考えます。

他にもアンケート項目はありましたが、研究が進むにつれ、子どもたちの言葉は、「楽しかった」から「ふるさとや地域の人に感謝したい」、さらには「役立つことをしたい」といったものに変容しています。子どもたちの視野が広がり、考えが深まっています。

ふるさとやそこに生きる人から学ぶことを通して、その魅力を心と記憶に刻み、ふるさとに生きる人材育成を大きな目標としながらも、小・中・高校と連携し、地域の皆様も元気になっていただきたいというチャレンジは、大きな成果がありました。このことは、今後継続することが大切です。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、口之津中・口加高校・口之津海上技術学校の皆様に改めて感謝いたします。

